



(まなべ・やすとし)

1950年大阪生まれ。北海道大学を卒業後、北海道のワイン会社、東京の自動車メーカー、環境ビジネス、札幌の車体メーカーと職を転々とする。99年5月前社の業績不振のため、勸奨退社し、8月の独立に至る。

高齢者向け生活情報求めています!

011-632-6220

すぐに使える起業情報

(株)エヴァナム
真鍋 康利さん (49)

起 業化支援に積極的な北海道庁では、毎年実施している起業化促進事業に、今年から新たな新規部門を増設した。その名も「中高年齢起業化奨励部門」。他部門同様に開業のための経費の半分(限度額500万円を最大2カ年まで)を助成してくれる制度だ。99年度は4名が認定され、高齢者

次世代を見据えた高齢者向け生活情報誌で助成金認定!

のための生活情報誌を発行するエヴァナムの真鍋康利さんも認定者のひとり。
「起業は心に決めていましたので、助成金はあくまで開業の後押しという位置付けです。もともと前の会社が業績不振という事態に陥りまして、その打開策として若い人をリストラするのではなく、役員の数を見直すことになったんです。そこで役員の中で一番若かった私が勸奨退社という形で辞めることにしました。それで、これからどうしようかと考えているとき、以前から必要性を痛感していたものの、構想のまま終わっていた地域に密着した生活情報誌の出

でしょ。それに書店に行くっていうことは我々が想像する以上に大きな負担となることが多い。そこでこのような方々が、知りたがっている有益な情報を宅配で提供したいと考えたわけです」
真鍋さんは99年の5月に退社後、開業の準備に取りかかり、8月に株式会社エバナムを設立する。

「一緒に構想を練った身近な協力者とわたしとで1050万円の資金を用意し、さらに私の事業に賛同してくれる方々に1口50万円を出資していただき、資本金2500万円です。スタートしました。こんな

版が頭に浮かびました。今本屋さんに行っても、高齢の方々が欲しいという情報というのはいらない。多くの方々に自分がやろうとしていることを支持してもらって、改めて勇気付けられましたね。それ



Check It Out!
公的支援獲得のポイント

- 1 社会公共性をアピール
- 2 図やグラフを使ってプレゼン
- 3 熱意と斬新なアイデアが決め手

「収入は広告料金がメインとなりますが、その広告に関しても、お年寄りにとって有益かどうかを判断していくつもりです。たとえば、眼鏡屋さんで補聴器が買えるなんてことは、多くの方は知らないと思います。このように広告でも価値のある情報は、どんどん掲載していきたい」
真鍋さんは今後の展望を語った。加えて北海道だけでなく、こういった情報誌が全国的に定着することを願っている。したがって競合誌も大歓迎。高齢者にとって住みよい社会になることこそ、最も切実に願う真鍋さんの想いだ。

ですが、なんとも幸運でしたね」
エヴァナムが発行する高齢者向け地域生活誌「悠悠と」は、5月に創刊されたばかり。創刊号は特別に、札幌・小樽を中心に老人クラブや老人センターなどの協力を得て配布する。

◎開業データ◎

- 社名/ (株)エヴァナム
- 資本金/2500万円
- 年商/初年度のため不明
- 設立/1999年8月
- 所在地/北海道札幌市中央区北1条西 22丁目3-32
- 電話/011-632-6220

